

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本学園は、多様な文化的背景を持った生徒たちが、自らアイデンティティについて自由に考えることができ、豊かな個性を持った創造的人間として複数の国家・境界をまたぎ活躍できる、いわば『越境人』の育成をめざし、2008年4月1日に設立、2012年4月2日、ユネスコスクールの認定を受けた。

日常的には、韓国語と、英語・日本語の3言語から成る多言語使用を奨励し、異文化理解に努め、多文化共生の可能性を見い出そうとしている。先進国研究・発展途上国研究にも取り組み、世界の諸問題を実際に見て学ぶ為の、フィリピン・韓国・カナダへのスタディーツアーを毎年実施しているが、2014年はこれにフィジーが加わった。生徒3名を一年間フィジーの姉妹校に協定留学させている。今後、フィジー現地のNPOなどとも関係の幅を広げていきたい。

ユネスコ理念を、日々の学習活動に落とし込む努力もしてきている。特に Liberal Arts (教養) 講座では、「自己表現」、「演劇」、「映画制作」、「民族楽器」、「国際関係学」、「平和学」などを設置していたが、2014年度にはさらに「SQヒーリング」「人権論」「知識の論理」と「サービス&プロジェクト」を設置した。

「SQヒーリング」では、個人の心のヒーリングを通じて平和文化の作法を学んでいる。自分も相手も平和で幸せでいられることである。「知識の論理」では与えられた知識の暗記だけが勉強ではなく、本来の知識の意味をさまざまな角度から考えさせている。

「サービス&プロジェクト」では、近くの箕面市国際交流センターと連携し、その多文化カフェでのサービング、外国児童との遊びのヘルパーなどの奉仕と、同カフェでの「キムチ作り」などの企画を起案、実施するという体験をした。ちなみに、「サービス&プロジェクト」の参加者は中等部生徒を中心に7名。

ボランティア活動としては、生徒会が呼びかけて毎週金曜日の朝に実施する近所の清掃作業がある。平均10名前後の生徒が参加し、一時間ほどの奉仕活動だが、終わるころには手に大きなビニール袋いっぱいのごみをもっている。清掃活動は淀川の河川敷での奉仕が始まりだが、2014年は近所の清掃に代わった。

このような奉仕活動には「ユネスコ協会 ESD PASSPORT」のボランを与えている。年度後半からボランを与えたので、規定の30ボラン獲得者は生まれなかったのは残念だが、今後は全生徒が参加するような取り組みに発展させたい。

「ESD PASSPORT」については、2015年2月、大阪で一番大きい多文化交流の場である「ワンワールドフェスティバル」の一企画として持たれたその実践報告会に参加し、上記「清掃活動」と「サービス&プロジェクト」の活動を報告した。

ほかに特記したいボランティア活動としては、去年から実施してきた東北被災地(気仙沼)活動を2014年度も実施したことである。大阪茨木市の府立北摂つばさ高校の呼びかけに応じて、参加する機会を得ている。2014年度は7月に高等部から4名の生徒が参加し、貴重な体験を得た。また、その恩返しではないが、気仙沼高校野球部が茨木に招かれ、親善試合をもつ3月に、去年に続き、その一部部員(今年は部員5名、教員2名)を寄宿舎に受け入れ、お世話ができた。

本校ユネスコクラブの活動としては、『日韓中高校生国際フォーラム(於大阪府立大学/2013年1月12・13日)』と『アジア太平洋地域高校生国際フォーラ

ム（於堺市産業振興センター／2013年11月3・4日）』への参加に続き、2014年度はその総決算ともいえる「ユネスコスクール世界大会」への参加がある。多言語による司会、裏方の総責任を本校生徒が担ったこともあったが、世界からの生徒たちと渡り合いながらグローバル課題解決に向け、真摯な議論を展開する姿は正直誇らしかった。一人ひとりが協力して世界大会の成功に向け、努力してくれたと評価したい。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）